

羽山神社と稻荷神社

御代田の鎮守。正面の大鳥居をくぐると正面に拝

殿があり、その奥にりっぱな本殿があります。祭神に大山祇命を祀る羽山神社です。昭和三年に、時の町長阿部安次郎氏等の運動で社殿を新築した際羽山神社を主神としました。羽山神社の奥の院は御幸山の山頂にある大岩で、その基部に祠があります。

前に主神であった稲

荷神社は旧殿に祀られ

ていましたが、その旧

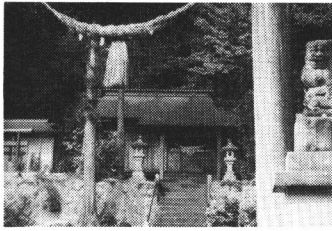
殿も今では改築されて

小さいながら新しい社

殿となっています。当

稻荷神社は、遠江国長

上郡大歳神社をこの地



羽山神社

に勧請したといいますが、その年については明らかではありません。明和二年陸奥国伊達郡小手庄十九社内、御代田村小関に大工大河内近内、安戸仲右エ門村上新之丞、次田伊左エ門に社殿を作らせて十一月完成し、遷宮した旨の記録が残されています。

その後、寛政十年（一七九八）にも遷宮を行ない安政五年（一八五八）をはじめ、度々修理を加えつつ昭和を迎えました。社殿に掲げてある額と木刀は小野派一刀流の剣士関根敬次郎義富によって奉納されたもので、記された門人名によって当時の剣術の隆盛を物語っています。

本殿の右裏手には、一メートル余の山神碑を中心に大黒天・辨財天、そして、おびただしい庚申塔が立ち、地域の人々の信仰の様がしのべれます。

信達一統誌には、御代田に宇賀神のあつたことが記されていますが、どの社を指すのかわかりません。宇賀神とは弁天とか白蛇を祭るものともいわれています。（日本石仏事典）